

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 追想 バレレンの世紀―渡辺京二
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声



急性アルコール中毒の治療はなんと報酬ゼロ。胃炎の「3分間診察」なら3490円。開業医ばかり肥え太る異常な料金制度こそ、医療衰退の諸悪の根源。政治家の露骨な癒着で40兆円の身勝手な差配が続く。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 無駄だらけ「東北復興土建事業」
- 104 血液の「盛大な浪費」と甘える被災地
- 106 外国人に理解されない「歌舞伎」―伝統軽視した松竹の「戦略ミス」
- 108 原子力規制庁「再稼働審査」に疑問符
- 110 利権の菓産「診療報酬」制度―開業医・役人・政治家「ぼろ儲け」のカラクリ
- 88 皇室の風―岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話―安村敏信
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 誤審のスポーツ史―中村計
- 114 マスコミ業界ばなし

● 写真提供／時事通信フォト 共同通信イメージズ 産経新聞社 毎日新聞社 日刊工業新聞社 など

3 連載(巻頭インタビュー)スティーブン・ジェン―金融緩和と世界経済乱調の主犯―

6 **「覚醒」した台湾**

―日米陣営に舞い戻った対中戦略の「要石」―

- 12 「トランプ指名」に傾く米共和党―ヒラリーと「大接戦」演じる公算も
- 14 独メルケル首相の「退陣」濃厚
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 地中海を覆う「IS」の恐怖―テロが日常となる南欧と北アフリカ
- 24 **世界経済メディア報道は嘘だらけ**
- 28 「約変」するアジアの穏健イスラム国家―中東以上に「暴力的勢力」が増大
- 30 「独立志向」が充満する香港―若者の「中国離れ」は止められない
- 32 「米朝対話」を渴望する金正恩―遠からず「五度目」核実験強行も
- 34 **韓国に「寝返られた」中国**
- 36 **「統制経済」へ逆行する中国**

● 特別レポート

■ 改革開放「成長路線」からの敗走



同日選実現のためには、前哨戦となる北海道補選の勝利が必須。安倍は鈴木宗男親子の「自民党入り」で野党分断まで画策する念の入れようだ。ただ甘利辞任の余波が大なら、「6月1日解散」は無理筋となろう。(48頁)

- 42 連載(土着権力の研究)長崎県 自民党県連―「新土建王国」を牽引する議員たち
- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 創価学会「ポスト池田」体制へ着々
- 48 **甘利辞任後の「安倍カレンダ」**
- 52 連載(政界スキヤン)田中角栄「懐古的人気」の理由
- 54 NHK「反籾井派」と官邸が結託
- 56 政権の「ボチ」と化す最高裁―「安倍色」判事だらけで崩れる三権分立
- 58 連載(罪深きは)この官僚
- 井上肇(厚生労働省大臣官房付)―「刑事告発」された悪徳医系技官

- 60 行き詰まるトヨタの「エコカー戦略」―世界が見限り始めた「ハイブリッド車」
- 62 「アップル衰退」に怯えるIT業界―「スマホ・タブレット」崩壊の日は近い
- 64 **三井住友銀行がひた隠す「事件簿」**
- 67 連載(クロージング)「醜聞」が連続
- 68 日本郵船に「融資詐欺」共謀疑惑
- 72 **対立激化「関西電力と中部電力**
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載(経営者東京裁判) 前田晃伸(みずほFG元社長)―銀行のモラルを消失させた「疫病神」
- 80 東芝で崖っぷちの「新日本監査法人」―顧客企業と社員「同時喪失」の苦境
- 82 「日本取引所」が歪める証券市場―杜撰な下場審査で投資家を裏切る
- 84 連載(企業研究) **住友商事**―いざれ三井物産に「吸収合併」される運命



2期連続の巨額減損で株主を裏切りながら、社長の経営責任はどこへやら。経産省からの天下りに頼る甘えた社風で、気づけば5大商社のドン尻に。墮ちた名門を待つのは業界再編、「住友三井物産」しかない。(84頁)

台湾人の自我は、もう中国の一部にはならない道を選択した。経済や軍事で日米との関係を再構築し、東アジア安定維持の要となろう。逆に「核心的利益」が離れていく中国は、海洋膨張政策の見直しを迫られる。(6頁)

